

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費	項：総務管理費	目：財産管理費
担当課	財政課		
事業名	新型コロナウイルス感染症対策基金積立金（単県）		

目的

新型コロナウイルス感染症に関して受領した寄附金について、新型コロナウイルス感染症対策事業の財源として活用するため、「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積み立てる。

事業説明

事業内容

(単位：千円)

内 容		現 計 予算額	9月補正 要求額
新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	新型コロナウイルス感染症に係る寄附金を「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積み立てる。	37,709	10,479

成果目標

○ 事業目標：寄附金を基金に積み立て、新型コロナウイルス感染症対策に適切に活用する。

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	寄附金	県債	一般財源
査定額	10,479	0	0	0	0	0	10,479	0	0
要求額	10,479	0	0	0	0	0	10,479	0	0
現計予算額	37,709	0	0	0	0	0	15,584	0	22,125

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費	項：総務管理費	目：財産管理費
担当課	財政課		
事業名	財政調整基金積立金（単県）		

目的

地方財政法の規定に基づき、令和2年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ積み立てる。

《令和2年度決算の概要》

(単位：百万円)

区分	歳入 ①	歳出 ②	歳入歳出 差引額 (①-②) ③	翌年度への 繰越財源 ④	実質収支 ③-④
令和2年度	1,203,465	1,170,474	32,991	11,583	21,408

事業説明

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	現計 予算額	9月補正 要求額
財政調整基金 積立金	地方財政法の規定に基づき、令和2年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ積み立てる。 《積立額》 ・令和2年度決算剰余金 21,408百万円の2分の1以上	—	10,800,000

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	10,800,000	0	0	0	0	0	0	0	10,800,000
要求額	10,800,000	0	0	0	0	0	0	0	10,800,000
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	公共交通ネットワーク維持確保事業（国庫）【新規】

目的

地域の暮らしや経済活動を支える公共交通ネットワークを維持・確保するため、緊急事態宣言や感染拡大防止集中対策期間の外出自粛要請等により、一時的に利用が落ち込んだ路線の収支状況等に応じた支援を実施する。

事業説明

対象者

公共交通事業者

事業内容

		(単位：千円)	
内 容	現 計 予算額	9月補正 要求額	
路線（バス、航路、鉄軌道）に対する支援 県の集中対策期間（R3.5～7）における路線毎の減収率（R元年度比）に応じ、路線収支の一部を補助する。 【減収率50%以上の路線・航路】 路線収支×1/2（バス・鉄軌道） " × 2/3（航路）を補助 【減収率30%以上50%未満の路線・航路】 路線収支×1/3（バス・鉄軌道） " × 1/2（航路）を補助	—	814,004	
中山間地域のバス事業者に対する支援 中山間地域のバス事業者に対し、一律支援金（2,000千円/者）を支給する。	—	112,000	
合 計	—	926,004	

成果目標

- ワーク目標：拠点間のバス路線が維持された市町数（R2実績）23市町（R3目標）23市町

事業費 (単位：千円)

	事 業 費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査 定 額	926,004	926,004	0	0	0	0	0	0	0
要 求 額	926,004	926,004	0	0	0	0	0	0	0
現 計 予 算 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（926,004千円）

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業（単県）【一部新規】

目的

鉄道ネットワークの維持・確保に向けて、芸備線の利用促進策に係る調査・検討を行い、芸備線の利用者の拡大を図る。

事業説明

対象者

JR芸備線沿線地域住民及び利用者

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	現計 予算額	9月補正 要求額
利用促進に係る調査・ 検討【新規】	○芸備線の利用促進策に係る調査・検討 ・通勤や観光客等の移動実態の把握・分析等	—	8,000
鉄道網を活用した地域 交流の拡大等	○鉄道網を地域資源として活用した地域交流の拡大等を支援 ○移動ニーズに基づく実証実験	27,000	—
合計		27,000	8,000

成果目標

○ 事業目標：鉄道の利用者数の維持

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
現計予算額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費 項：選挙費 目：選挙費
担当課	市町行財政課
事業名	県議会議員補欠選挙（単県）【新規】

目的

公職選挙法に基づき、知事選挙の執行に併せて、県議会議員（広島市安佐南区）の補欠選挙を行う。

事業説明

対象者

市町、候補者、選挙人

事業内容

広島県議会議員補欠選挙を執行する。

(単位：千円)

区分	内容	現計予算額	9月補正 要求額										
県議会議員 補欠選挙	<p>広島市安佐南区選出の石橋林太郎議員が令和3年7月6日に議員辞職したため、令和3年11月14日執行予定の知事選挙に併せて補欠選挙を執行する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選挙公営費</td> <td>ポスター作成等の公営に要する経費</td> </tr> <tr> <td>不在者投票 特別経費</td> <td>不在者投票に要する経費</td> </tr> <tr> <td>市町交付金</td> <td>市選管が投票所・開票所・ポスター掲示場等の運営に要する経費に関する県交付金</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>県選管が直接執行する投票用紙印刷等の事務に要する経費</td> </tr> </tbody> </table>	事業区分	事業内容	選挙公営費	ポスター作成等の公営に要する経費	不在者投票 特別経費	不在者投票に要する経費	市町交付金	市選管が投票所・開票所・ポスター掲示場等の運営に要する経費に関する県交付金	事務費	県選管が直接執行する投票用紙印刷等の事務に要する経費	—	37,031
	事業区分	事業内容											
	選挙公営費	ポスター作成等の公営に要する経費											
	不在者投票 特別経費	不在者投票に要する経費											
	市町交付金	市選管が投票所・開票所・ポスター掲示場等の運営に要する経費に関する県交付金											
事務費	県選管が直接執行する投票用紙印刷等の事務に要する経費												
<p>《選挙の内容》</p> <p>1 選挙日 令和3年11月14日 (県知事選挙(任期満了日前30日以内)と同日)</p> <p>2 告示日 選挙日の9日前(令和3年11月5日)</p> <p>3 選挙人 195,976人(R3.4.7選挙人名簿登録者数)</p> <p>4 選挙区 広島市安佐南区</p> <p>5 投票所 40カ所(R3年度参議再選)</p> <p>6 開票所 1カ所</p> <p>7 選挙すべき人数 1人</p>													

成果目標

○ 事業目標：適正かつ効率的な選挙事務の管理執行

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	37,031	0	0	0	0	0	0	0	37,031
要求額	37,031	0	0	0	0	0	0	0	37,031
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	地域公共交通感染拡大防止対策事業（国庫）【新規】

目的

県民が安心して通学，通勤，通院といった日常生活が送れるよう，公共交通事業者に対して，感染拡大防止対策に必要な経費の支援を行う。

事業説明

対象者

公共交通事業者

事業内容

(単位：千円)

内 容	現 計 予 算 額	9 月 補 正 要 求 額
感染防止対策に係る支援 県内に本拠地を置く交通事業者に対し，感染防止対策に必要な経費の支援を行う。 【支援内容】 ・タクシー：車両数 1台につき2万円 ・バス：車両数 1台につき2万円 ・旅客船：総トン数 5トン当たり2万円 ・鉄軌道：車両数 1台につき2万円	—	238,559

成果目標

- 事業目標：公共交通機関における感染リスクの低減

事業費 (単位：千円)

	事 業 費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 ・ 負 担 金	使 用 料 ・ 手 数 料	財 産 収 入	繰 入 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源
査 定 額	238,559	238,559	0	0	0	0	0	0	0
要 求 額	238,559	238,559	0	0	0	0	0	0	0
現 計 予 算 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち，新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（238,559千円）

査定結果

要求どおり

災害復旧事業（自然公園等施設）

1 趣旨

令和3年7月豪雨及び8月豪雨等により、自然公園等施設が被災したため、復旧工事を実施する。

【事業内容】

- ・ 瀬戸内海国立公園 野呂山 歩道の復旧
- ・ 瀬戸内海国立公園 鳴滝山 法面の復旧
- ・ 瀬戸内海国立公園 宮島 車道等の復旧
- ・ 瀬戸内海国立公園 極楽寺山 法面等の復旧
- ・ 西中国山地国定公園 牛小屋高原 車道の復旧
- ・ 西中国山地国定公園 三段峡 歩道の復旧
- ・ 比婆道後帝釈国定公園 県民の森 車道の復旧
- ・ 比婆道後帝釈国定公園 上帝釈 歩道の復旧
- ・ 比婆道後帝釈国定公園 下帝釈 歩道の復旧
- ・ 県立自然公園 山野峡 園地の復旧
- ・ 県立自然公園 三倉岳 歩道の復旧
- ・ 中国自然歩道 龍頭峡 歩道の復旧
- ・ 野外レクリエーション施設 中央森林公園 法面等の復旧

2 補正予算額

98,600千円

(単位:千円)

区 分	現計 予算額 A	9月補正 要求額 B		補正後 予算額 C(A+B)	9月補正の 主な事業内容	
		7月豪雨	8月豪雨等			
災 害 復 旧	10,000	98,600	45,600	53,000	108,600	
うち単独事業	10,000	98,600	45,600	53,000	108,600	歩道斜面の復旧等

3 査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉総務費 ほか
担当課	新型コロナウイルス感染症対策担当 ほか
事業名	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等返還事業（単県）

目的

令和2年度中に受け入れた、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の国庫支出金について、精算後の不用額を国へ返還する。

事業説明

対象者

国

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	現計 予算額	9月補正 要求額
国庫支出金の国への返還	○新型コロナ感染症緊急包括支援交付金等の精算後の不用額の国への返還 【返還事業】 ・新型コロナ患者等の受入病床の確保 ・宿泊療養施設の設置・運営 ・介護施設等における感染防止対策に必要な経費の支援 ・医療・介護従事者に対する慰労金 等	—	12,155,992

成果目標

- 事業目標：適切な国費返還事務の執行

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	12,155,992	0	0	0	0	0	0	0	12,155,992
要求額	12,155,992	0	0	0	0	0	0	0	12,155,992
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：衛生費 項：公衆衛生費 目：予防費 ほか
担当課	新型コロナウイルス感染症対策担当 ほか
事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業（一部国庫）

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに、様々な課題に迅速かつ適切に対処する。

事業説明

対象者

県民全体

事業内容

【新型コロナウイルス感染症対策基金充当】 (単位：千円)

区分	内容	現計 予算額	9月補正 要求額
感染拡大防止対策	軽症患者等搬送業務委託事業 PCR検査体制強化事業 ほか	88,366,402	1,044,415
医療提供体制の確保	感染症医療従事者支援事業 感染症医療提供体制強化事業 ほか	33,647,798	13,528,003
3密を避けた事業継続 と雇用維持	障害者経済的自立支援事業 ほか	5,776	—
安心・安全な県民生活	生活福祉資金貸付制度補助金 ほか	4,595,836	2,911,780
合計		126,615,812	17,484,198

成果目標

- 事業目標：新型コロナウイルス感染症の検査体制及び療養体制の確保 ほか

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	17,484,198	17,134,447	0	0	0	10,479	0	0	339,272
要求額	17,484,198	17,134,447	0	0	0	10,479	0	0	339,272
現計予算額	126,615,812	119,308,089	0	0	0	235,979	551,418	0	6,520,326

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（246,718千円）

査定結果

要求どおり

新型コロナウイルス感染症対策事業（9月補正分）【健康福祉局】

(千円)

(千円)

項目		事業内容	現計予算額	3年度9月補正
① 感染拡大防止対策				
1	継続	PCR検査体制強化事業 (コロナ対策担当) ○PCRセンターの設置・運営など、早期の感染連鎖の遮断に必要な対策を継続して実施する。 【PCRセンター設置箇所】 広島市（流川、観音、本通）、福山市、三次市、東広島市 【設置期間（見込）】 10月～1月（4か月） ○医療機関におけるPCR検査自己負担分の補助 (11月～1月（3か月））等	4,344,808 [70,000] < 0 > 《 2,124,452 》 (2,150,356)	676,168 [0] < 0 > 《 336,896 》 (339,272)
2	継続	軽症患者等搬送業務委託事業 (コロナ対策担当) ○県内における軽症患者等の搬送業務を民間事業者へ委託し、継続して実施する。 【期間】11月～1月（3か月）	784,098 [784,098] < 0 > 《 0 》 (0)	368,247 [368,247] < 0 > 《 0 》 (0)
事業費			5,128,906	1,044,415
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金			[854,098]	[368,247]
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			< 0 >	< 0 >
その他国庫、コロナ基金など			《 2,124,452 》	《 336,896 》
一般財源			(2,150,356)	(339,272)
小計				

② 医療提供体制の確保

1	継続	感染症医療提供体制強化事業 (コロナ対策担当) ○新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保に対する支援（空床補償）を引き続き行う。 【病床確保体制】病床使用状況に応じた体制を整備 (最大1,000床分) 【期間】11月～1月（3か月）	19,467,923 [19,467,923] < 0 > 《 0 》 (0)	7,803,785 [7,803,785] < 0 > 《 0 》 (0)
2	継続	宿泊療養施設等確保事業 (コロナ対策担当) ○新型コロナ感染症の軽症患者等が療養するための宿泊療養施設等の確保を引き続き行う。 【宿泊療養体制】施設使用状況に応じた体制を整備 (最大3,000室分) 【期間】11月～1月（3か月）	10,998,300 [10,998,300] < 0 > 《 0 》 (0)	5,467,021 [5,467,021] < 0 > 《 0 》 (0)
3	継続	感染症医療従事者支援事業 (医療介護人材課) ○新型コロナウイルス感染症患者に対応する医療従事者へ特殊勤務手当を支給する医療機関に対し、引き続き経費を補助する。 【対象者】診療・検査医療機関等（257機関）の医療従事者 【補助単価】4,000円/日・人 【期間】11月～1月（3か月） 【対象延べ人数（見込み）】80,548人（11月～1月）	814,284 [0] < 734,124 > 《 80,160 》 (0)	257,197 [0] < 246,718 > 《 10,479 》 (0)
事業費			31,280,507	13,528,003
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金			[30,466,223]	[13,270,806]
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			< 734,124 >	< 246,718 >
その他国庫、コロナ基金など			《 80,160 》	《 10,479 》
一般財源			(0)	(0)
小計				

③ その他（安心・安全な県民生活）

1	継続	生活福祉資金貸付制度補助金 (地域福祉課) ○休業や失業を理由に、一時的に資金が必要な方への緊急の貸付である、「緊急小口資金」及び「総合支援資金」について、貸付期間が11月末まで延長されたことから、国の生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用し、必要な貸付原資（債権管理費を含む）を県社会福祉協議会に対し追加補助する。	3,957,298 [0] < 0 > 《 3,957,298 》 (0)	2,911,780 [0] < 0 > 《 2,911,780 》 (0)
事業費			3,957,298	2,911,780
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金			[0]	[0]
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			< 0 >	< 0 >
その他国庫、コロナ基金など			《 3,957,298 》	《 2,911,780 》
一般財源			(0)	(0)
小計				
総事業費			40,366,711	17,484,198
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金			[31,320,321]	[13,639,053]
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			< 734,124 >	< 246,718 >
その他国庫、コロナ基金など			《 6,161,910 》	《 3,259,155 》
一般財源			(2,150,356)	(339,272)
合計				

現計予算額 3年度9月補正

災害復旧事業(公共施設)

1 趣旨

令和3年7月豪雨に伴う落雷により被災した県立広島学園の施設等について、災害復旧事業を実施する。

【事業内容】

- ・電気設備の復旧（破損した電線等の復旧）
- ・消防設備の復旧（破損した複合火災受信機の交換）

2 補正予算額

1,200千円

(単位:千円)

区分	現計予算額 A	9月補正 要求額 B	補正後 予算額 C(A+B)	9月補正の 主な事業内容
災害復旧	0	1,200	1,200	
うち単独事業	0	200	200	電線等の復旧
うち補助事業	0	1,000	1,000	複合火災受信機の交換

3 査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：民生費 項：災害救助費 目：災害救助費 ほか
担当課	健康危機管理課 ほか
事業名	令和3年8月豪雨災害被災者救助・支援事業（一部国庫）

目的

令和3年8月11日からの大雨による被災者に対し、災害救助法等に基づく各種救助（応急仮設住宅の供与等）及び災害弔慰金や災害見舞金等の支給を行うことにより、被災者の保護及び速やかな生活再建を図る。

事業説明

対象者

令和3年8月11日からの大雨による被災住民

事業内容

1 応急対策 【災害救助基金充当】 (単位：千円)

区分	内容	負担割合	現計 予算額	9月補正 要求額
災害応急救助費 (実施主体：県) (対象区域：災害救助法 が適用された市町(広島 市、三次市、安芸高田 市、北広島町))	○被災者に対し、緊急に必要な応急救助を実施 【救助内容】 ・住宅の応急修理 ・応急仮設住宅供与 ・避難所設置 ・避難所等における食糧費 等	国1/2 県1/2 等	26,310	184,636

2 被災者の生活支援・再建 (単位：千円)

区分	内容	負担割合	現計 予算額	9月補正 要求額
災害見舞金 (実施主体：県) (対象区域：県内全域)	○災害により被災した世帯に対する見舞金の支給 ・対象者：災害により住居が全壊又は半壊した世帯 ・支給額：全壊 30万円、半壊 10万円	県10/10	2,500	14,200
被災者生活再建支援 補助金 (実施主体：県) (対象区域：県内全域 (法適用市町を除く))	○被災者生活再建支援法適用市町となった場合、国による 支援金が支給されるが、法適用外市町には国からの支援 がないことから被災世帯に対し国と同等の支援金を支給 ・対象者：住居が全壊した世帯等 ・支給額：25万円～300万円	県1/2 市町1/2	3,250	24,000
災害弔慰金 (実施主体：市町) (対象区域：県内全域)	○市町が行う弔慰金の給付に対する補助 ・対象者：災害により死亡した人の遺族 ・支給額：生計維持者 500万円、その他 250万円	国1/2 県1/4 市町1/4	17,813	11,250
災害援護資金貸付金 (実施主体：市町) (対象区域：県内全域)	○市町が行う貸付に対する貸付原資の負担 ・対象者：災害により負傷又は住居、家財に被害を 受けた者 ・貸付限度額：150万円～350万円 ・利率(年)：3% ・貸付期間：10年(うち据置期間3年)	国2/3 県1/3	600	4,200
貸付利子補給 (実施主体：市町) (対象区域：県内全域)	○市町が行う災害援護資金又は生活福祉資金の貸付利子 への利子補給に対する補助 ・対象者：資金貸付を受け住宅の補修等を行う者 ・支給額：貸付利子相当額(生活福祉資金は年1.5%)	県1/2 市町1/2	315	(債務 1,402) 0
小計			24,478	(債務 1,402) 53,650
合計			50,788	(債務 1,402) 238,286

成果目標

○ 事業目標：被災住民の速やかな保護及び迅速な生活支援・再建

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務1,402) 238,286	99,423				91,924		2,800	1,402) 44,139
要求額	(債務1,402) 238,286	99,423				91,924		2,800	1,402) 44,139
現計予算額	50,788	24,593				13,592		400	12,203

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：商工費 項：工鉱業費 目：工鉱業振興費
担当課	イノベーション推進チーム
事業名	カーボンニュートラルへ向けたものづくり産業支援事業（国庫）【新規】

目的

コロナ禍においても、カーボンニュートラルに対応するための先行的な取組を推進する前向きな県内ものづくり企業に対し、専門家による伴走型支援を行う。このことにより、得られた課題や知見については、精度の高い支援策の構築につなげる。

事業説明

対象者

県内ものづくり企業（輸送用機械器具製造業等）

事業内容

（単位：千円）

内 容	現 計 予算額	9月補正 要求額
カーボンニュートラルへ向けたものづくり産業支援 ○コロナ禍においても、カーボンニュートラルに取り組む前向きな県内ものづくり企業に対し、コンサルタント等の専門家による伴走型支援を行う。（20件） ○得られた課題や知見をもとに、地域関係者で構成する会議体においても議論を深め、カーボンニュートラルに向けた本県ものづくり産業に対する精度の高い支援策の検討を行う。	—	112,000

成果目標

- ワーク目標：1人当たりの付加価値額（輸送用機械器具製造業）
（H30実績）1,599万円 （R3目標）1,220万円 （R7目標）1,680万円
- 事業目標：県内ものづくり企業における経営方針策定等支援件数 （R3目標）20件
事業成果を踏まえた関係機関との連携による今後の施策検討及び他企業への波及

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	112,000	112,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	112,000	112,000	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（112,000千円）

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：商工費 項：工鉱業費 目：工鉱業振興費
担当課	県内投資促進課
事業名	企業立地促進対策事業<新型コロナウイルス感染症対策特別枠>（国庫）【一部新規】

目的

コロナ禍を契機として、これまでの働き方が見直され地方移転に関心を持つ企業や人が増えている中、官民連携の企業誘致体制の構築を実証的に行うことで、広島県への本格的な進出の検討を促す。
 また、AI、IoT、ロボット化など生産性向上に係る設備投資を期間限定で後押しするための制度を創設し、コロナ後を見据え、県内の持続可能な経済成長を図る。

事業説明

対象者

シェアオフィス等事業者、DX化に関わる設備投資を実施する企業

事業内容

(単位：千円)

内 容	現 計 予算額	9月補正 要求額
ひろしまオフィスプランニング実証事業 (県外企業誘致) 【新規】	—	30,000
コロナ禍における ファクトリーDX加速化助成（設備投資） 【新規】	—	1,000,000
立地企業等への助成	(債務6,091,405) 6,660,957	—
合計	(債務6,091,405) 6,660,957	1,030,000

成果目標

- ワーク目標：多様な人材・企業の集積のための投資誘致件数（IT企業、本社・研究開発機能等）
 (R元実績) 15件 (R3目標) 30件 (R7目標) 30件
 製造業等の拠点機能強化のための投資誘致件数
 (R元実績) 48件 (R3目標) 35件 (R7目標) 50件

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	1,030,000	1,030,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,030,000	1,030,000	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	(債務6,091,405) 6,660,957	0	0	0	0	0	0	0	(6,091,405) 6,660,957

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（1,030,000千円）

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：農林水産業費 項：農地費 目：農地等保全管理事業費
担当課	ため池・農地防災担当
事業名	農地等保全管理事業受託工事費<東広島市分> (単県)

目的

平成30年7月豪雨災害により被害を受けた農地・農業用施設の早期の復旧を支援するため、事業主体である東広島市から受託したため池の復旧工事において、現場条件の変更が生じたため、追加工事を実施する。

事業説明

対象者

東広島市

事業内容

(単位：千円)

内 容		現 計 予 算 額	9 月 補 正 要 求 額
農地・農業用施設 災害復旧工事の 受託	○東広島市から受託したため池の復旧工事において、軟弱地盤が確認されたことを受け、地盤改良等の追加工事を実施	56,000	120,000

成果目標

○ 事業目標：令和3年度中の受託工事の完了

事業費

(単位：千円)

	事 業 費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 ・ 負 担 金	使 用 料 ・ 手 数 料	財 産 収 入	繰 入 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源
査 定 額	120,000	0	0	0	0	0	120,000	0	0
要 求 額	120,000	0	0	0	0	0	120,000	0	0
現 計 予 算 額	56,000	0	0	0	0	0	56,000	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：農村金融対策費
担当課	就農支援課
事業名	農業制度資金利子補給等事業<令和3年7月豪雨等> (単県)

目的

令和3年4月の凍霜害及び7月・8月豪雨により被災した農業経営体の運転資金や園芸施設の再取得等に必要な融資に対する利子補給を行うことにより、被災した農業経営体の早期の経営安定を図る。

事業説明

対象者

農業経営体

事業内容

(単位：千円)

内 容		現 計 予算額	9月補正 要求額
運転資金の融資に対する利子補給	○農業振興資金（被害農業者救済資金） ・令和3年4月の凍霜害及び7月・8月豪雨により被災した農業経営体への運転資金の融資に対する利子補給 【融資枠】400百万円 【償還期間】7年（うち据置期間1年）以内	—	(債務8,832) 606
園芸施設の再取得等に必要な資金の融資に対する利子補給	○農業近代化資金 ・農業経営体が行う設備投資などに必要な資金の融資に対する利子補給 【融資枠】400百万円 【償還期間】7～17年（うち据置期間2～7年）以内	—	(債務82,840) 1,664
	○農業振興資金（農業施設災害特別資金） ・令和3年7月・8月豪雨により被災した農業経営体に対して園芸施設の再取得や果樹の改植等に必要な資金を融資する場合に、農業近代化資金に追加して行う利子補給 【融資枠】400百万円 【償還期間】7～17年（うち据置期間2～7年）以内 ※利子補給の期間は貸付を行ってから10年以内	—	(債務7,803) 203
合 計		—	(債務99,475) 2,473

成果目標

○ 事業目標：災害の影響を受けた農業経営体の経営の継続

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務99,475) 2,473	0	0	0	0	0	0	0	99,475) 2,473
要求額	(債務99,475) 2,473	0	0	0	0	0	0	0	99,475) 2,473
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

公共事業

1 趣旨

令和3年7月豪雨及び令和3年8月豪雨等により被災した施設について、災害復旧事業等を実施する。

また、補助公共事業において、当初予算を上回る内示のあったものについて、予算整理を実施する。

【事業概要】

- 令和3年7月豪雨及び令和3年8月豪雨等により被災した農地・農業用施設、治山施設及び林道の復旧等
- 国の内示増を踏まえた予算整理

2 予算規模等

3, 802 百万円

(単位：百万円)

区分	現計 予算額 A	9月補正 要求額 B(C+D+E)	R3 災害		内示増 E	補正後 予算額 F(A+B)	事業内容
			7月 豪雨 C	8月 豪雨等 D			
災害復旧費	10,755	2,200	768	1,432	0	12,955	
うち補助事業	10,280	1,904	612	1,292	0	12,183	農地・農業用施設, 林道の復旧
うち単独事業	475	297	156	141	0	772	治山施設の異常 堆積土砂の除去等
補助公共	9,991	1,324	0	835	489	11,315	
うち農業農村整備事業	5,735	301	0	0	301	6,036	農道の整備
うち治山事業	2,468	991	0	835	156	3,459	治山施設の整備
うち林道事業	938	32	0	0	32	971	林道の整備
単独建設	1,433	117	28	89	0	1,550	
うち小規模崩壊地 復旧事業費	325	117	28	89	0	442	治山施設の整備
維持修繕費	402	161	50	111	0	563	
うち治山施設 機能強化事業費	255	161	50	111	0	416	治山施設の補修等
計	22,581	3,802	846	2,467	489	26,383	

※端数調整により合計と内訳が一致しない場合がある。

※9月補正の要求がある区分・分野のみを計上。

3 査定結果

要求どおり

令和3年度9月補正

支出科目	款：土木費 項：空港費 目：航空対策費
担当課	空港振興課
事業名	広島空港拠点性強化事業（一部国庫）

目 的

新型コロナウイルス感染症の影響により旅客需要激減が長期化し、広島空港における国内・国際定期路線の維持が極めて困難な状況になっていることから、広島空港の航空ネットワークを維持するため、航空会社等に対して支援を実施する。

事業説明

対象者

航空会社、機内食製造会社、アクセス事業者

事業内容

（単位：千円）

区 分	内 容	現 計 予算額	9月補正 要求額
国際定期路線緊急支援	○国際定期路線を運航する航空会社5社への支援期間の延長 ア 延長期間：令和3年11月～令和4年3月（5か月） イ 支援内容：事務所賃貸料などの固定経費の支援	14,559	8,780
	○国際定期路線維持に不可欠な機内食製造会社への支援期間の延長 ア 延長期間：令和3年11月～令和4年3月（5か月） イ 支援内容：機内食提供機能の維持に必要な固定経費の支援	3,085	2,203
空港アクセスバス事業者への支援	○広島空港リムジンバスを運営しているアクセス事業者への支援期間の延長 ア 延長期間：令和3年11月～令和4年3月（5か月） イ 支援内容：路線・便数の維持に必要な運行経費の支援	76,048	47,901
エアポートセールス	○国内線の利用促進及び国際線の維持・復便等に向けた航空会社等へのセールス活動	5,519	—
合 計		99,211	58,884

成果目標

- ワーク目標：国際線路線数・便数
 (R1実績) 5路線26便/週 (R3目標) 6路線18便/週 (R7目標) 7路線31便/週
 広島空港と主要拠点を結ぶ公共交通ルート数
 (R2実績) 9ルート (R3目標) 10ルート (R7目標) 12ルート
- 事業目標：航空ネットワークの維持・拡充

事業費 （単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	58,884	58,884	0	0	0	0	0	0	0
要求額	58,884	58,884	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	99,211	93,692	0	0	0	0	0	0	5,519

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（58,884千円）

査定結果

要求どおり

公共事業

1 趣旨

- (1) 令和3年7月豪雨及び令和3年8月豪雨等により被災した公共土木施設の災害復旧事業や今後の出水により人家への被害が発生する恐れがあるなど、緊急的に対応が必要となるものを実施する。
- (2) 平成30年7月豪雨災害に係る公共土木施設の災害復旧事業及び災害復旧と一体で実施する単独改良事業について精査した結果、事業費が増額となる見込みとなったことから、これに要する経費を要求する。
- (3) 令和3年度当初予算の補助公共事業及び直轄事業負担金の内示結果を踏まえ、当初予算を上回る内示となったものについて予算整理を実施する。

2 予算規模

39,937百万円

(単位:百万円)

区分	現計 予算額 A	9月補正 要求額 B	R3災害		H30.7月 豪雨	内示	補正後 予算額 C(A+B)	主な内容
			7月豪雨等	8月豪雨等				
補助公共	42,997	2,939	303	1,260	0	1,376	45,935	
道路	17,349	908	93	0	0	815	18,257	降雨等により被災した道路路面や道路・河川兼用護岸の緊急整備等
砂防	7,071	1,725	210	1,260	0	255	8,797	土砂災害発生箇所における砂防堰堤の緊急整備等
海岸	994	74	0	0	0	74	1,068	当初予算の内示増
港湾	4,303	69	0	0	0	69	4,372	当初予算の内示増
街路・都市計画	3,026	8	0	0	0	8	3,034	当初予算の内示増
公園	324	154	0	0	0	154	478	当初予算の内示増
直轄事業負担金	13,754	323	0	0	0	323	14,077	
港湾	1,178	323	0	0	0	323	1,501	当初予算の内示増
単独建設	14,137	1,851	51	0	1,800	0	15,988	
道路	6,447	198	0	0	198	0	6,645	災害復旧と一体で実施する単独改良
河川	2,500	1,044	0	0	1,044	0	3,544	災害復旧と一体で実施する単独改良
砂防	1,331	609	51	0	558	0	1,940	市町による急傾斜地崩壊対策の補助 災害復旧と一体で実施する単独改良
維持修繕費	14,506	8,366	4,561	3,805	0	0	22,871	
道路	8,514	625	259	366	0	0	9,138	舗装や法面の修繕等
河川	3,189	5,981	3,439	2,542	0	0	9,170	河川内の堆積土等除去、護岸の修繕等
砂防	829	1,338	636	702	0	0	2,167	砂防施設の修繕等
港湾	1,167	419	226	193	0	0	1,585	港湾区域内の堆積土の除去
公園	72	3	0	3	0	0	75	公園内の園路舗装の修繕
土木施設災害復旧費	8,642	26,458	8,910	11,853	5,695	0	35,100	
補助	8,542	25,598	8,730	11,173	5,695	0	34,140	公共土木施設の復旧
単独	100	860	180	680	0	0	960	公共土木施設の復旧
(合計)	94,035	39,937	13,825	16,918	7,495	1,699	133,971	

※端数処理の都合で、合計と内訳が一致しない場合がある

※9月補正の要求がある分野のみを計上

3 債務負担行為

(1) 土木施設災害復旧事業

令和3年7月豪雨及び令和3年8月豪雨等により被災した公共土木施設の災害復旧事業について、適切な工期を確保し、工期が翌年度に跨る工事についても計画的に執行を進めるため、債務負担行為を設定する。

(単位:百万円)

区分	期間	限度額		
			7月豪雨等	8月豪雨等
補正前	—	—	—	—
補正後	R4.4.1~R5.3.31	4,000	2,000	2,000

(2) 街路事業

栗柄広谷線街路事業（府中市栗柄町～高木町）における橋梁下部工事について、用地交渉の難航により、工法の変更とそれに伴う河川管理者である国との協議に時間を要するなど、調査・設計に遅れが生じ、工期の見直しが必要となったことから、債務負担行為の期間と限度額を変更する。

(単位:百万円)

区分	期間	限度額
補正前	R4.4.1~R5.3.31	500
補正後	R4.4.1~R6.3.31	945

4 査定結果

要求どおり

災害復旧事業(公共施設)

1 趣旨

令和3年7月豪雨により、広島県運転免許センターが被災したため、復旧工事を実施する。

【事業内容】

- 敷地南西側法面の復旧（堆積土砂の撤去等）

2 補正予算額

4,400千円

(単位:千円)

区分	現計予算額 A	9月補正 要求額 B	補正後 予算額 C(A+B)	9月補正の 主な事業内容
災害復旧	0	4,400	4,400	
うち単独事業	0	4,400	4,400	敷地法面の復旧

3 査定結果

要求どおり